

各位

2006年4月28日
日本たばこ産業株式会社

『海外たばこ事業の販売実績(速報)』について
(2006年1~3月期)

JT(本社:東京都港区、社長:本田勝彦)は、子会社であるJT International S.A. (JTI)を中心に展開している海外たばこ事業について、2006年1~3月期の販売実績(速報値)を取りまとめましたのでお知らせします。

弊社の海外たばこ事業における2006年1~3月期の総販売数量は、利益成長を主眼に旗艦ブランドと位置付けている「グローバル・フラッグシップ・ブランド」(以下、「GFB」)が伸張した事を主要因に、対前年同期比31億本増(6.4%増)の521億本と、引き続き好調に推移しています。

また、「GFB」販売数量は対前年同期比21億本増(7.0%増)の324億本となりました。「GFB」の販売数量が増加した要因として、「キャメル」がイタリア、フランスで、「ウインストン」がスペイン、イラン、ウクライナ、イタリア、ロシアで、「マイルドセブン」が台湾およびロシアで伸張したこと等が挙げられます。

なお、総販売数量には、2005年5月から日本および国内免税市場で販売されていたJTI製品(キャメル・ウインストン・セーラム等)が国内たばこ事業に統合されたことによる減少、また、今期イタリアにおいて流通業者との取引条件を変更したことによる流通業者在庫分の売上計上に伴う販売数量の増加など、一時的要因が含まれており、これらの要因を除くと、総販売数量は対前年同期比9.1%増、GFB販売数量は対前年同期比10.8%の増となります。

この結果、税込売上高は対前年同期比20百万ドル減少の1,860百万ドル(1.1%減)、税抜売上高は前年同期とほぼ同じ1,018百万ドル、千本当税抜売上高は対前年同期比1.3ドル減少の19.5ドル(6.1%減)でした。

この売上高の減少は、2006年からJTIが一部の販促経費の会計処理を変更したこと、為替のネガティブな影響、スペインでのたばこ税増税等が主たる要因です。昨年の2005年1~12月期に上記の会計処理を適用したと仮定した場合、税込売上高は対前年同期比0.6%増、税抜売上高は対前年同期比3.0%増、千本当税抜売上高は対前年同期比3.1%減となります。

- ※1 海外たばこ事業については、2005年1~12月期の実績を2006年3月期連結会計期間の実績としています。
- ※2 数値はすべて速報値です。

<お問い合わせ先> IR広報部 TEL:03-3582-3111 【代表】

2006年1～3月期の海外たばこ販売実績および売上高等

海外たばこ事業の2006年1～3月期の実績は以下のとおりです。

	2006年実績	2005年実績		2005年/2006年 会計処理適用ベース	
		1月～3月	1月～3月	伸長率	1月～3月
総販売数量(億本) 注1	521	490	6.4%	490	6.4%
うち GFB 販売数量(億本) 注1	324	303	7.0%	303	7.0%
税込売上高(百万ドル) 注2	1,860	1,880	-1.1%	1,849	0.6%
税抜売上高(百万ドル) 注2	1,018	1,019	-0.1%	988	3.0%
千本当税抜売上高(ドル) 注3	19.5	20.8	-6.1%	20.2	-3.1%

(注1) 2005年5月、日本市場および国内免税市場におけるJTI製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)を国内たばこ事業に統合したことから、両市場については、4月末までの販売実績を計上しています。

(注2) 海外たばこ事業の売上高は内部取引消去後の数値を開示しており、2005年実績における日本市場のJTI製品の売上高は含まれていません。

(注3) 千本当税抜売上高=税抜売上高/販売数量×1,000